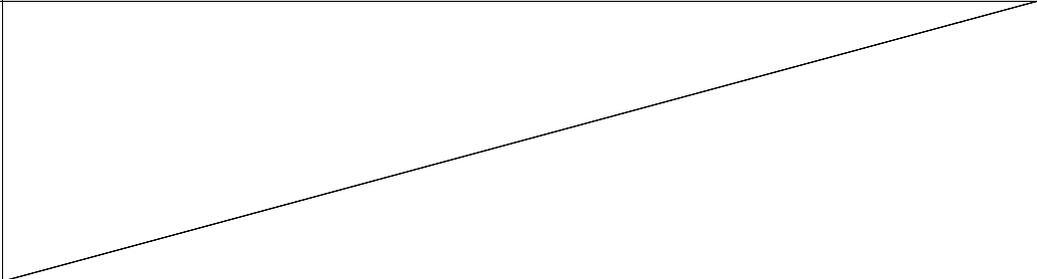


市議会からの意見等一覧（平成27年3月）

NO.	意見・要望	答弁
1	<p>審議会で配布された「基本計画のたたき台」となる資料では、課題に対する対応の欄に現行第4次総合計画第2期基本計画にはない「市民・市民団体・事業者の主な取り組み」が記載されている。</p> <p>今後の本市の状況を考えた時、こうした考えは非常に重要であるが、この欄が設けられた経過・考え方等について伺います。</p>	<p>「市民、市民団体、事業者の主な取り組み」は、基本構想(試案)に「みんながつながり、支えあうまちづくり」として、「あらゆる主体がまちの目標を共有し、役割を理解しながら、まちづくりを進めていくことを挙げている点」を踏まえ、行政の取り組みとは分けて一つの項目として取りまとめた。</p> <p>このまちづくりの主体に関しては、昨年12月の市議会でも「市民、市民団体、事業者などあらゆる主体の役割分担の明確化」について意見があり、1月の審議会でも、委員より「主要な取り組みについて、市民・市民団体・事業者の役割を区別して記載したほうが、今後の議論用の資料として分かりやすい」との意見があったことを踏まえ、市民まちづくりワークショップなどの意見・提案等を基に記載した。</p>
2	<p>「市民・市民団体・事業者の主な取り組み」の欄を総合計画そのものに記載する際には、その書き方については工夫していく必要があるが、今後の人口減少社会を踏まえると非常に重要な観点である。</p> <p>この「市民・市民団体・事業者の主な取り組み」については、次期基本計画に是非とも盛り込んでほしい。</p>	
3	<p>先日の審議会では、指標等目標管理の仕組みについても議論されていたが、次期総合計画の目標管理についてどのように考えているのか伺います。</p>	<p>審議会では、「計画の中に具体的な数値があれば、分かりやすい」など次期総合計画の進捗を測る指標など目標管理の仕組みについて多くの意見をいただいているところであり、次期総合計画基本計画には、施策の進捗を測る指標を盛り込んでいく方向で議論が進められている。</p> <p>指標設定にあたっては、現行の施策評価制度の施策指標等を踏まえ、どのような指標を設定すべきか、また、次期総合計画の進捗を管理する新たな評価制度の構築などについて、今後議論が進められる。</p>

NO.	意見・要望	答弁
4	<p>人口減少時代を迎え、限られた財源の中で選択と集中の視点を持った計画にしていきたい。また、審議会の資料を見ている限りでは、既に項目によって詳細に何行も書かれている項目もあれば、1行だけしか書かれていない項目がある。これは、現段階で暗に選択と集中がされているのではないかと思う。一律に全部の項目、これだけの分量は書かないといけないというような形で無理に増やす必要はないと考える。</p>	